

## 天風録

△おならはえらい▽で  
始まって△でてきたとき  
／きちんと／あいさつす  
る▽と続く。まど・みち  
おさんの詩に初めて触れ  
た時、妙に感心したもの  
だ。あの音をたたえた詩はめつ  
たにあるまい▲「ぷー・プロジ  
エクト」と名付けた研究チーム  
があると知った。「ぷー」はそ  
の腸内ガスかと思いきや、英語  
の幼児言葉で「ウンチくん」だ  
という。世界を股に掛けて便を  
もらい受け、そこに生きる腸内  
細菌叢そう、つまり「微生物の草む  
ら」をあるがままの姿で保存す  
る試みである▲チームの要に、  
竹原市生まれの山本太郎医師が

いる。長崎大で国際保健学を教  
える傍ら、「抗生物質と人間」  
(岩波新書)をこのたび世に問  
うた▲学術書というより警世の  
書である。ペニシリン以来多く  
の人命を救った抗生物質だが、  
それが今は私たちの体内に共生  
する細菌叢をかく乱しているの  
では、と憂える。そこで世界の  
高地や砂漠、北極圏など欧米化  
を免れた辺境の民の「ぷー」に  
着目し、望みをつなごうとい  
うのだ▲山本医師は作家灰谷健次  
郎さんの「太陽の子」から一節  
引く。「ひとつのいのちを無数  
のいのちがとりまいている」。  
毎朝の「お出まし」に、エール  
を送りたい気持ちになる。